

広報

URL <http://www.ogata.or.jp/>
E-mail: ogata_mura@ogata.or.jp

おおがた



発行 秋田県大潟村役場
南秋田郡大潟村字中央1番地1
電話 0185(45)2111(代) FAX 0185(45)2162

夢あふれ かがやく大地 広がる未来

●今月の主な内容

- ◇ 9月定例会
- ◇ 大潟中学校文化祭
- ◇ 大潟村合同金婚式・敬老会
- ◇ 全国市町村交流レガッタ大潟大会

大潟村公式ブログ

「おおがた散歩」 公開中!

<http://www.ogata.or.jp/blog/>
公式ホームページトップのバナー
からもアクセスできます。

ラストスパート!! キャッチ!ロー!!

9月20日(土)・21日(日)、県営大潟漕艇場において、全国市町村交流レガッタが開催されました。大潟村の選手団は、成年男子の部優勝を始め、開催地としての存在感を大いに発揮しました。



No. **511**
平成26年
10月号

村議会9月定例会



村政報告

農作物の生育状況について

水稲については、生育は茎数が多く、草丈が長めで推移したこともあり、8月の台風や長雨により倒伏傾向の圃場が目立っております。

穂数は1穂当りの着粒は平年をやや下回っておりますが、面積当りの籾数は概ね平年並みか平年を上回っていると予想されます。

今年は、平年より2～3日程早い出穂期となりましたが、登熟前半からの積算平均気温・日照時間が低く推移していることから、刈取りは平年並みで、あきたこまちで9月20日頃と予想されます。

また、8月中旬頃から村内全域で、アワヨトウによる水稲への食害が発生しています。特に「たつこもち」に被害が多く見られ、「あきたこまち」「きぬのはだ」にも被害が確認されていることから、JAではアワヨトウに関する警戒情報を発行し、適切に防除するよう呼びかけています。

村では、被害が特に顕著な圃場を確認し、収量が低下した場合の対応について、東北農政局秋田地域センターと協議しております。

大豆については、8月の長雨により湿害や倒伏傾向の圃場が目立ちますが、着莢数等は概ね平年並みとなっております。

小麦については、栽培期間中及び収穫時において、天候に恵まれたことから、収量は概ね平年並みで、登熟も順調に推移し、等級は全量が1等になる見込みです。

メロンについては、外観・糖度ともに安定しておりましたが、栽培期間中に雨が少なかったことから、小玉傾向となり収量は平年を下回っております。

南瓜については、交配期間中の干ばつと長雨の影響により着果数が少ないことから、大玉傾向ではあったものの、収量は昨年を下回っております。

合同金婚式・敬老会について

9月4日、サンルーラル大湊において、大湊村合同金婚式・敬老会を開催いたしました。合同金婚式には12組24名のご夫婦が出席され、敬老会には210名を超える高齢者の方々が出席されました。また、賀寿を迎えられた方々89名へ、村よりお祝金と記念品をお渡ししたところであります。

秋田県消防操法大会について

9月4日に由利本荘市の秋田県消防学校において実施された秋田県消防操法大会についてですが、大湊村消防団は、男鹿湊上南秋支部の代表として小型ポンプ操法及びポンプ車操法の部に出場し、日頃の練習成果を十分に発揮し、ポンプ車操法優勝、小型ポンプ操法6位という成績を収めました。

猛暑や大雨が続く中で訓練を重ねてこられた選手の皆さん、おめでとうございます。本当にお疲れ様でした。これまで選手を支えてこられたご家族・団員・消防署員や議会を始めとする村民の皆さまのご支援に心より感謝申し上げます。

ポンプ車操法で見事優勝を果たしました大湊村消防団第3分団は、今年11月8日に東京都で開催される全国消防操法大会に秋田県代表として出場することとなりますが、2度目となる全国優勝を目指して、今後とも訓練に励んで頂きたいと思っております。



見事優勝のポンプ車操法

耕心会の秋田県特別表彰受彰について

大潟村年金受給者協議会、通称耕心会が、「自発的な活動により個性的で魅力ある社会づくりに貢献した団体」として、県の記念日である8月29日、秋田県特別表彰を受けました。受彰されました耕心会の皆様、誠にありがとうございます。

耕心会は、20年あまりにわたる菜の花管理やボランティア活動などによって、村の景観づくりに大いに貢献し、今や「桜と菜の花まつり」は県内でも有数の観光スポットになり、毎年多くの観光客が村に足を運んで来ています。

農業の第一線を退いたとはいえ、耕心会の方々のパワーはこれからの村づくりに必要であります。今後も、「日本一元気な長寿村」を目指していきたいと思いますので、耕心会の皆様におかれましては、各種イベントや高齢者の生きがいがづくりの一環として、独創的で魅力的な活動を続けてくださるよう、よろしくをお願いします。

大潟村創立50周年記念事業について

6月28日の「村民運動会」では、小中学生や一般村民など約500人が参加し、各種種目に汗を流したほか、ゲストの谷川真理さんとウォーキングやジョギングをするなどして楽しみました。準備、運営に頑張っていたいただいた実行委員会の皆様方、大変ご苦労様でした。



村民運動会、東西対抗綱引き

7月13日には、「由紀さおり・安田祥子ファミリーコンサート」がサンルーラル大潟で開催され、準備した700席あまりが全て埋まり、大盛況でありました。～うたが咲いています～とサブタイトルが付けられたコンサートでは、童謡、唱歌を中心に懐かしい歌や、今も歌い継がれ誰もが知っている歌を澄んだ歌声とハーモニーで聞かせてくれました。また、客席からのリクエストにも瞬時に応じ、曲の合間にはさむ話も楽しく、会場全体がゆったりと優しい雰囲気にも包まれ、歌の持つ魅力を改めて認識する充実したコンサートでした。

26年前に続き2回目の大潟村でのコンサートで

ありましたが、お二人とのご縁を大切にし、是非また村においでいただきたいと考えております。おかげさまで、楽しく充実した時間を多くの方々と共有できたことに感謝いたします。

8月2日には、50周年記念連続フォーラムの第1回目がサンルーラル大潟で開催され、約180名の参加を得て盛会裡に終了しました。このフォーラムは、秋田県立大学と村との共催で、大潟村の50年を総括して、干拓・営農・村づくりに視点をあて、今後の日本農業・農村再生への提言と今後100周年に向けた村づくりの起点とするため、3回連続で開催するものです。

第1回目は、「未来を拓く大地の創造」をテーマに、基調講演や報告、提言などをいただきました。

それらを総括すると、次の3点になろうかと思えます。まずは、営農基盤における新しい技術の追求をしていくこと、2つめに、豊かな自然環境の創造と継承をしていくこと、3つめに、地域主体の自然エネルギーの開発に挑戦していくこと、この3つがあげられました。そして、これらを通じて描く大潟村農業の未来の姿として、「世界のモデル農村を目指そう」というスケールの大きい提言でありました。

第1回目から、充実し質の高い内容のフォーラムとなったことを喜ばしく思うとともに、関係者の方々のご努力とご協力に心から感謝申し上げます。

11月8日には、「未来を支える新たな農業の展望」をテーマに、2回目のフォーラムを開催しますので、今回参加できなかった方にもぜひ参加していただきたいと思えます。



第1回フォーラムには約180名が参加

また、8月16日には、50周年を記念し、例年より拡大した内容で、青年会主催による、全村盆踊り大会が実施されました。踊りの輪もいつもより大きく、また、有名なアニメーションの主人公の声で50周年を祝うメッセージが届けられたほか、真夏の夜を彩る花火の打ち上げが盛大に行われる

などし、50周年を祝いました。村民の皆様にも楽しんでいただけたのではないかと思います。



例年よりスケールアップした盆踊り

豪風関の応援大使委嘱について

金足農業高校出身の豪風関は、大潟村に知人も多く、これまでも数回にわたり大潟村を訪れ、子どもたちや高齢者の方々とふれあい活動を行ってきました。

今後も村民とのこうした活動を継続していただくとともに、大潟村50周年を機に、全国各地で活躍中の豪風関に、是非、村の魅力を広くPRしていただきたいと考え、このほど大潟村応援大使に委嘱をいたしました。

8月27日に、有志による「大相撲豪風関を囲む会」が開催され、その会の冒頭、応援大使委嘱式を行ったところ、豪風関は、「自分に何ができるか考え、応援大使としての任務を果たしたい。」と意欲的でした。

9月14日から始まる秋場所では、これまでの最高位関脇として、さらなる活躍が期待されます。今後も村民の皆様方と一緒に応援していきたいと思ひます



小学校を訪問、児童と腕相撲をする豪風関

大潟村・仙北市交流事業について

この事業は、「八郎太郎」と「辰子姫」の伝説の関わりから仙北市との交流を進め、観光振興を図るものです。

昨年に引き続き、7月26日に開催された「第44回たざわ湖・龍神まつり」に、龍勢会、青年会、JA青年部、並びに大潟神社責任役員21人が参加しました。龍神まつりでは、八郎太郎役や龍の担ぎ手として参加し、たざわ湖音楽祭りでは、八郎太鼓を披露したところです。

本日9月10日には、仙北市から辰子龍神、ミニ龍神、龍神太鼓が来村し、大潟神社例大祭に参加し村民と交流します。

今後は、「八郎太郎」と「辰子姫」の関連事業を展開し、観光客の誘客を図るとともに、様々な交流を進めていきたいと考えています。



辰子龍の龍神御輿が来村

大潟村・浦安市子ども交流事業について

この事業は、県の「秋田発・子どもふるさと交流推進事業」を活用して実施し、今年は、浦安市スポーツ少年団剣道チーム9人、引率者6人の計15人が、8月8日から10日までの2泊3日の日程で、本村を訪れました。そして、大潟スポーツ少年団・天王スポーツ少年団の剣道チームとの交流試合、農家への民泊、農業体験、バーベキュー交流、ザリガニつりなどの体験交流を行いました。

また、10月11日から13日までの2泊3日の日程で、村からは昨年に続き、大潟小学校5年生児童が、浦安市を訪れ体験交流を行う予定となっております。

さらに、11月には、浦安市老人クラブが本村を



浦安市の子どもたちと、なまはげ館にて

訪れ、グランドゴルフで交流する予定です。

今後も、浦安市とは、住民レベルの様々な活動を通して交流を深めていきたいと考えております。

自然エネルギー事業化調査検討事業について

自然エネルギー事業については、村づくり計画や環境基本条例で村が取り組むべき施策として位置づけ、これまで風力、太陽光、バイオマスなどについて可能性調査をはじめ、事業化についても検討をしながら、その間、公共施設への太陽光発電設備の導入を進めてきたところであります。

太陽光発電の事業性については、今年7月11日開催の検討委員会において、事業採算性があるという結論に至り、このほど事業計画案がまとまりました。この事業には、村も主体的に参加しながら、村内企業団体や村民一般が広く参加できる仕組みの事業会社を計画しています。村が主体的に参加することにより、事業に対する信用と会社運営の透明性を図ることができ、さらには、地域循環型社会の形成や自然エネルギー・省エネルギーの普及活動や農業振興・地域振興を図ることができます。そして、地球温暖化や環境問題に地域全体で取り組むことで、その利益を、確実に地域に還元していきたいと考えています。

事業化検討に際しては、村内企業団体や村民と意見交換してきましたが、太陽光発電事業に関しては、概ね皆さんの賛同が得られると思っておりますので、村としましてもこの事業を具体的に進めたく、発電事業会社設立の出資金を今定例会に補正予算計上させていただいております。議員の皆様におかれましては、何卒ご高配のほど、よろしくようお願い申し上げます。

ラムサール条約湿地への登録に関する検討状況について

昨年末より検討してきました本事業は、これまで環境省及び秋田県と協議を重ねながら、村民学習会をはじめ、関係機関、団体及び住民、地権者への説明会を行ってきました。その中で、ラムサール条約登録を農産物の販売戦略として活用していきたいなど、賢明な利用を期待する意見があった一方、鳥獣保護特別保護区になった場合の一定の規制等に対する不安や懸念など、賛否両論がありました。

ラムサール条約登録においては、村が地元調整を行い、登録の意思表示を環境省へ示す必要がありますが、猟友会及び土地改良区より反対意見書が出されるなど、地元調整がまだ整わないことから、来年度開催される第12回締約国会議での登録

はしない旨を去る8月8日に環境省東北地方環境事務所へ直接伝えてきたところであります。

今後も、これまで同様に大潟村環境基本条例の基本理念のもと、「豊かな自然環境と共生する村」の実現に向け、村民の主体的な活動を助長していくとともに、村民の皆さんと一体となって取り組んでまいりたいと思っておりますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

水道水の不足について

去る8月5日から6日にかけて、発生しました水道水の不足について、村民の皆さまに大変ご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

今回の水道水の不足については、発生当初は、浄水場施設の洗浄作業や気温の上昇に伴う水道使用量の増などによるものと考えました。その後、原因を調査したところ、県立大学農場の水道本管から漏水していることが判明しましたので、修繕工事を実施し、数日間の経過観察をしたところ、水道使用量は例年並みに落ち着き、安定供給が可能になりました。

今後は、このようなことがないように、安定供給に努めてまいります。

また、漏水の発見や水道水の異常に気づいたときは、お手数をお掛けしますが、ご連絡くださるようお願いいたします。

障害福祉サービスの「特別地域加算」の未払いについて

特別地域加算とは、障害者総合支援法の施行により平成21年度より厚生労働大臣が定める地域（中山間地域等）に居住している利用者に対して、基準に定める障害福祉サービス等を利用した場合に加算されるものです。大潟村は半島振興法第2条第1項の規定による半島振興対策実施地域として、特別地域加算対象地域に指定されています。

この「特別地域加算」の未払いについて、6月に県から調査依頼があり、制度が開始された平成21年度まで遡り調査を行ったところ、本村においても村外3事業者に対して693万円の未払いが判明しました。

事業者と話し合いを行った結果、うち2事業者が今月中に、過誤申請、再請求を行うとのことで、村はその請求に基づき全額支払うこととし、今定例会に関連予算を計上しております。

今回の直接的原因は、当村の障がい担当者の制度に対する理解不足により、障がい福祉サービスの受給者証に特別地域加算の対象となる旨の記載

をしていなかったことから、事業者においても特別地域加算の該当地域である事を把握できず、請求ができなかったことによります。

今後は、法令や制度内容に対する職員の理解を徹底し、再発防止に努めてまいります。

この度対象となられた事業者及び利用者の方々に、大変ご迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げます。

第23回全国市町村交流レガッタ大潟大会について

大会は、今月20日、21日に開催されます。

今大会では全国ボート場所在市町村協議会加盟の30自治体のうち、25自治体から120クルー約850名の参加となり、さらに、来賓、競漕役員等合わせますと、総勢950名規模の大会となります。



息の合った選手宣誓をしたのは、大潟村の成年女子クルー「ピッチガールズ」



大潟村のクルー、成年男子優勝は、「艇猿」

今後は、スポーツ推進委員、ローイングクラブはじめ、ボランティアの方々の協力をいただき、大会の準備を進めてまいります。

我が大潟村からは、議会チームはじめ、全7種目に9クルーが出場いたします。優勝を目指し頑張っていただくとともに、交流を深めていただきたいと思います。

第29回国民文化祭・あきた2014川柳の祭典について

第29回国民文化祭は、10月4日、秋田市において文化庁並びに県主催の開会式・オープニングフェスティバルが開催され、一ヶ月間の文化の祭典が幕を開けます。

本村で開催する川柳の祭典の応募状況ですが、6月30日に事前投句の申込みを締切り、集計しましたところ、小学生・中学生の部は、全国29の都府県から応募があり、9,858名、33,969句の応募がありました。過去の大会と比較しても2番目の数となっており、特に秋田県内、なかでも男鹿・潟上・南秋地域の小中学校の応募が多く、関係者のご努力とご協力に感謝しているところです。

高校生・一般の部では、全ての都道府県に加え、遠くアルゼンチンからも投句があり、1,989名の方から14,825句の申込みがありました。

また、10月19日の大会への参加をあらかじめ申し込まれた方は321名、前日の前夜交流会に参加を申し込まれた方は177名となっております。

今後は、残り一ヶ月余りに迫った大会に向け、大潟村川柳倶楽部や秋田県川柳懇話会などと協力しながら準備を進めてまいります。

9月定例会で可決された議案

大潟村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例案

児童福祉法の改正に伴い、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める必要があることから、所要の規定を整備するものです。

工事請負契約の締結について

あきた未来づくり交付金事業、産直センター潟の店改修工事について、平成26年8月29日に、条件付き一般競争入札を執行し、1億2,744万円にて三種町の 成田建設株式会社本店 本店長 門間 誠 が落札したので、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の議決を経るものです。

大潟村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例案

子ども・子育て支援法の制定に伴い、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める必要があることから、所要の規定を整備するものです。

大潟村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例案

児童福祉法の改正に伴い、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める必要があることから、所要の規定を整備するものです。

9月定例会で可決された議案

平成26年度大潟村一般会計補正予算案

補正前の額	4,149,903千円
補正額	128,094千円
補正後の額	4,277,997千円
＜主な歳入＞	
・国庫支出金	2,804千円
・県支出金	25,175千円
・その他	549千円
・前年度繰越金	99,566千円
＜主な歳出＞	
・大潟村太陽光発電事業	40,000千円
・「潟の店」施設整備事業	26,386千円
・障害者総合支援法に係る事業	8,249千円
・戸籍副本データ管理システム構築委託事業	4,860千円
・マイナンバー法関連整備事業	4,585千円
・第24回全国消防操法大会事業	4,114千円

平成26年度大潟村国民健康保険事業特別会計補正予算案

補正前の額	735,638千円
補正額	339千円
補正後の額	735,977千円
＜主な歳入＞	
・前年度繰越金	339千円
＜主な歳出＞	
・過年度退職者医療交付金返納金	339千円

平成26年度大潟村介護保険事業特別会計補正予算案

補正前の額	249,829千円
補正額	1,106千円
補正後の額	250,935千円
＜主な歳入＞	
・前年度繰越金	1,106千円
＜主な歳出＞	
・過年度介護給付費負担金返納金	1,106千円

9月定例会で同意された議案



大潟村固定資産評価審査委員会委員の選任について

大潟村固定資産評価審査委員会委員
 佐藤 豊 氏 (66歳、東2-1)
 任期：平成26年9月26日から
 平成29年9月25日まで

9月定例会で認定された案件

平成25年度大潟村歳入歳出決算認定について

7ページに特別会計、8～9ページに一般会計の決算の概要を掲載しています。

平成25年度 大潟村特別会計決算

特別会計は、水道事業や診療所運営など特別な事業を行う場合に、一般会計と切り離し、その会計ごとの特別な歳入（例えば水道料金など）を歳出に充てる会計制度です。大潟村では7会計が設けられています。平成25年度の特別会計の決算は次のとおりです。

(単位：円)

特別会計名	歳入	歳出	差引額
診療所特別会計	71,417,998	65,941,514	5,476,484
国民健康保険事業特別会計	747,437,514	721,676,057	25,761,457
介護保険事業特別会計	246,995,350	236,611,995	10,383,355
介護サービス事業特別会計	257,078,334	249,804,860	7,273,474
後期高齢者医療特別会計	47,744,306	47,479,569	264,737
水道事業特別会計	148,800,809	143,234,377	5,566,432
公共下水道事業特別会計	147,625,663	133,976,900	13,648,763

平成25年度

一般会計 歳入

(単位：円)

区 分	決算額	区 分	決算額
村 税	786,873,464	分担金及び負担金	32,301,482
地方譲与税	96,652,000	使用料及び手数料	43,298,134
利子割交付金	1,685,000	国庫支出金	2,381,589,591
配当割交付金	1,863,000	県支出金	183,961,983
株式等譲渡所得割交付金	2,079,000	財 産 収 入	1,831,897
地方消費税交付金	42,208,000	寄 附 金	45,000
自動車取得税交付金	19,561,000	繰 入 金	520,000,000
地方特例交付金	499,000	繰 越 金	157,002,769
地方交付税	1,503,085,000	諸 収 入	36,085,610
交通安全対策特別交付金	1,326,000	村 債	391,300,000
		合 計	6,203,247,930



1億7,497万

【歳入の概要】

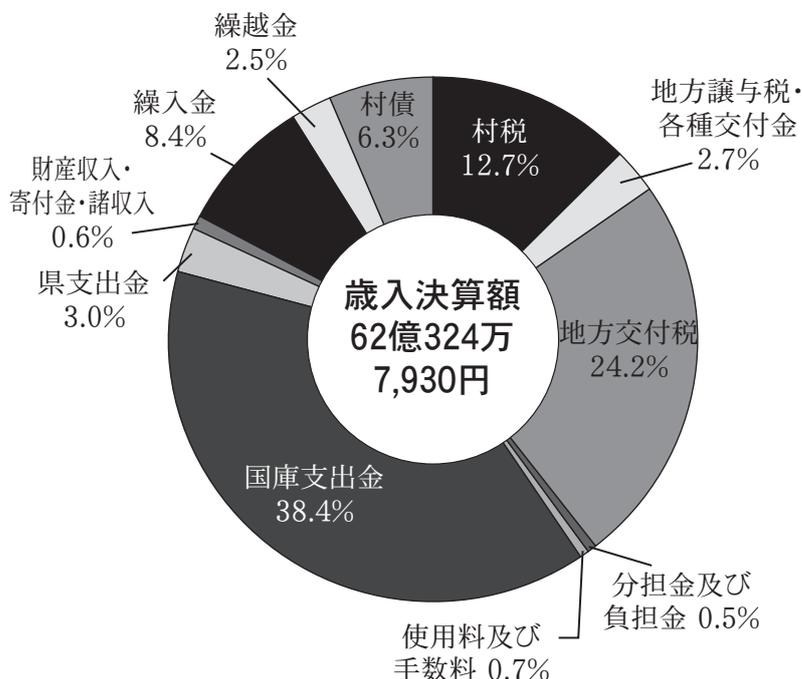
平成25年度の歳入総額は62億324万7,930円で、前年度と比較して8億5,585万7,978円の減（12.1%減）となっています。

■前年度と比較し増額になった主な項目

村税 3,826万5,203円増（5.1%増）
繰入金 1億6,800万円増（47.7%増）

■前年度と比較し減額になった主な項目

地方交付税 6,520万2,000円減（4.2%減）
国庫支出金 1億1,504万1,911円減（4.6%減）
県支出金 1億2,576万4,054円減（40.6%減）
繰越金 2億2,887万9,656円減（59.3%減）
村債 4億8,680万円減（55.4%減）



○主要事業と決算状況

区分/決算額	主要な施策の内容
議会費 66,055,771円	・報酬 29,268千円
総務費 689,552,393円	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修事業 1,178千円 男鹿半島・大潟ジオパーク推進事業 2,783千円 南地区新規ハウス用地整備事業 29,424千円 定住化促進事業（多世代同居住宅増改築支援） 3,682千円 西4丁目企業誘致推進事業 8,090千円 チャレンジマインド海外研修事業 1,824千円 マイタウンバス運行事業 12,355千円 自治会活動推進事業 3,970千円 秋田県町村電算システム共同事業組合負担金 18,521千円 村創立50周年推進事業 4,930千円 村史編纂事業 8,307千円
民生費 505,173,888円	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者等福祉入浴扶助事業 7,224千円 湖東総合病院建設事業 31,200千円 障がい者総合支援法に係る事業 8,955千円 福祉医療費支給事業 25,870千円
衛生費 295,212,331円	<ul style="list-style-type: none"> がん検診事業 9,060千円 八郎湖水質浄化対策推進事業 4,539千円 公共施設再生可能エネルギー等導入事業 60,008千円 ごみ収集運搬業務委託事業 11,552千円 保健センター施設整備事業 10,484千円 自然エネルギー事業化調査検討事業 2,432千円

大瀧村一般会計

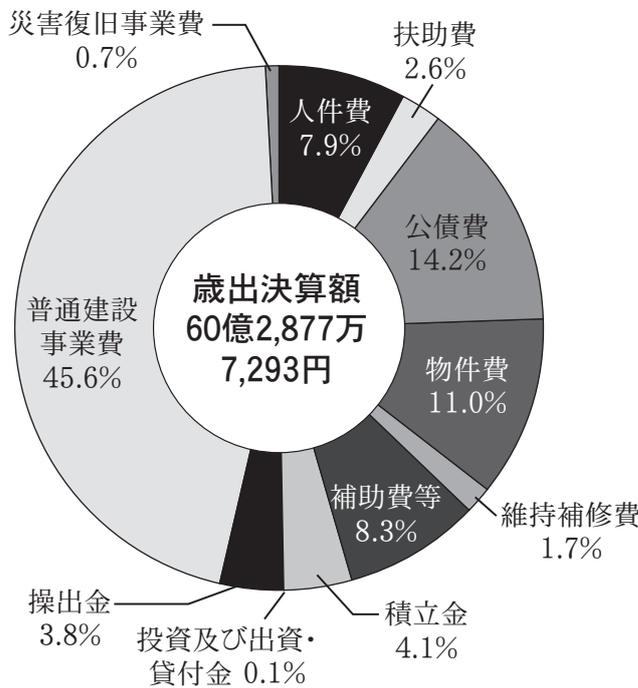
報 告

一般会計 歳出

(単位：円)

区 分	決 算 額
人件費（議員・各種委員報酬、職員給与等）	476,411,033
扶助費（福祉医療費、入浴券、子ども手当等）	155,263,011
公債費（村で借り入れた地方債の償還金）	857,179,818
物件費（火災保険料、物品、修繕、委託料等）	663,414,046
維持補修費（道路や建物等の補修費用）	105,346,007
補助費等（各種補助金・負担金等）	500,803,035
積立金（減債基金等、基金への積み立て）	246,030,000
投資及び出資・貸付金	5,000,000
操出金（各種特別会計への事務費補助等）	230,160,000
普通建設事業費（小・中学校改築工事等）	2,748,158,193
災害復旧事業費	40,512,150
合 計	6,028,277,293

637円の黒字決算



【歳出の概要】

平成25年度の歳出総額は60億2,827万7,293円で、前年度と比較して8億7,382万5,846円の減（12.7%減）となっています。

■前年度と比較し増額になった主な項目

土木費 1億4,173万2,327円増（41.5%増）
公債費 5億2,963万189円増（161.7%増）

■前年度と比較し減額になった主な項目

総務費 4億3,364万4,630円（38.6%減）
農林水産業費 1億6,398万7,987円（6.2%減）
教育費 10億2,894万7,325円（76.6%減）

区分/決算額	主要な施策の内容	
農林水産業費 2,474,596,066円	<ul style="list-style-type: none"> チャレンジプラン推進事業 16,066千円 おおがた野菜産地形成推進事業 11,415千円 担い手育成対策事業 5,850千円 環境創造型農業推進事業 50,040千円 	<ul style="list-style-type: none"> 排水対策事業 2,615千円 農業基盤整備促進事業 1,715,452千円 環境保全型農業直接支援対策負担金事業 21,795千円
商工費 158,898,092円	<ul style="list-style-type: none"> 景観作物栽培推進事業 6,870千円 	<ul style="list-style-type: none"> 観光PR事業 6,065千円
土木費 483,020,181円	<ul style="list-style-type: none"> 街灯LED化事業 462千円 住区内側溝高圧洗浄事業 44,497千円 	<ul style="list-style-type: none"> 大瀧環状線舗装補修事業 41,950千円
消防費 143,090,203円	<ul style="list-style-type: none"> 次期秋田県総合防災情報システム整備事業 2,816千円 防災行政無線更新事業 6,615千円 	
教育費 314,986,400円	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育支援員配置事業 10,004千円 大瀧村連携教育推進事業 68千円 冬季ふるさと祭り事業 701千円 	<ul style="list-style-type: none"> 第29回国民文化祭あきた2014「川柳の祭典」事業 3,141千円 大瀧村の自然・生物撮影事業 985千円
その他 897,691,968円	<ul style="list-style-type: none"> 24年災害道路復旧事業 40,512千円 	<ul style="list-style-type: none"> 公債費 857,180千円

大中祭『翔～Transparent Future～』

9月6日（土）、中学校において、大中祭が開催されました。オープニングは実行委員による寸劇。映画「アナと雪の女王」のキャラクターに扮した生徒たちが、会場の笑いを誘いました。

保健委員会の発表では、委員一人ひとりが大潟村のセールスマンになって、特産品をPRしました。

3年生の金香奈咲さん（東2-6）は、先に行われた潟上・南秋中学校英語暗唱弁論大会で優勝した際の「My Dream（私の夢）」を発表し、聴衆を唸らせていました。

学年対抗の合唱コンクールでは、会場全体を巻き込んで手拍子をする演出が光った3年生が優勝し、歓喜の渦に包まれました。

午後の部のトップバッターは、2年生による百姓踊り。日頃から練習を重ねた笛・太鼓・踊りを披露しました。

吹奏楽部の演奏では、吹奏楽コンクール秋田県大会中学校小編成の部で金賞を受賞した「アトラス～夢への地図」を皮切りに、J-POPや演歌などノリのいい曲に先生や生徒のボーカルも加わり、会場からは大きな拍手が送られました。

大中祭もクライマックス、午後の部の後半は、生徒たちが最も盛り上がる「エンターテイメント」のコーナー。バイオリンの独奏やカラオケ、ダンスなど、秘密特訓の成果を発表し合いました。エンターテイメントの大トリを飾ったのは、野球部の3年生によるバンド演奏。完成度の高さに生徒も保護者も感心し、会場一体となって盛り上がりまわりました。大中祭の実行委員でもあり、ドラムを務めた斉藤壮さん（東3-3）は、「短い練習期間だったが、毎日のように集まって練習したことで、メンバーの気持ちが一つになったと思う」と語りました。



3年生の合唱では手拍子を誘う場面も



2年生による百姓踊り



吹奏楽部のダイナミックな演奏



エンターテイメントのコーナーは、出演者も観衆も生徒が主体。陰で練習を重ねた歌やダンス、バンド演奏を披露し、会場全体が一つになりました

平成26年度 大瀧村合同金婚式・敬老会

9月4日（木）、サンルーラル大瀧において、合同金婚式と敬老会が開催されました。

金婚を迎えられたご夫婦は、昭和39年に婚姻されたご夫婦で、式典には12組のご夫婦が参加されました。金婚式では、記念に贈られた婚姻日の新聞コピーを見ながら、結婚当時の思い出話に花を咲かせていました。

同日、金婚式終了後、210名を超える方々が参加して敬老会が行われ、喜寿、傘寿、米寿、卒寿の方々に祝い金等が贈呈されました。



式典ではアトラクションも催され、幼稚園児の元気いっぱいの歌とダンス、三味線愛好会の演奏に、会場にはたくさんの拍手が湧いていました。



幼稚園児の歌とダンスに目が釘付け



飛び入りでの合唱もありました

ひだまり苑敬老会

9月13日（土）、特別養護老人ホームひだまり苑において、敬老会が開催されました。式典では、喜寿、傘寿、米寿、卒寿、白寿の方々一人一人に村長から、祝い金が贈呈されました。また、利用者代表として佐々木稔さんから謝辞が述べられました。

式典終了後には、湖踊会によるアトラクションも催され、参加者は敬老会を楽しんでいました。



村長から祝い金の贈呈



利用者代表の佐々木さんから謝辞

豪風関が大潟村応援大使に委嘱されました

8月27日（水）、ホテルサンルーラル大潟で開催された大相撲豪風関を囲む会において、豪風関の大潟村応援大使委嘱式を執り行いました。委嘱式は、集まった約80名の村民の前で披露され、委嘱状の代わりにチュウヒの像が手渡されました。

豪風関はこれまで数回にわたり村を訪れ、子ども達の相撲指導や、ひだまり苑を訪れるなど、村民との交流を続けてきました。今後も村との絆を一層深めてもらうとともに、全国各地で活躍中の豪風関に村の魅力を広くPRして頂くべく、このたびの応援大使を委嘱することになりました。

応援大使事業は平成23年度に始まり、今年で4年目。豪風関が15人目の大使となります。



第46回 八郎潟干拓記念駅伝競走大会 一般・高校：48.272km 中学校：24.136km

第32回 秋田県女子ロードレース大会 一般・高校：5km 中学校：3km

8月31日（日）、八郎潟干拓記念駅伝がスポーツラインで行われました。

大潟村創立50周年記念事業の一環として、「高等学校の部」に東北地区高等学校のトップチームを招待した今大会は、46回目を迎え、秋晴れのもと、一般と高校の部で大会新記録が出る白熱したレースとなりました。

「高等学校の部」の招待校

- ・青森山田高等学校（青森県）
- ・一関学院高等学校（岩手県）
- ・仙台育英学園高等学校（宮城県）
- ・学法石川高等学校（福島県）
- ・東海大学山形高等学校（山形県）

ほかオープン参加 報徳学園高等学校（兵庫県）

《干拓駅伝》

【一般】（17チーム参加）

48.272km 優勝：土崎陸友会（2時間39分57秒）
※大会新

【高校生】（14チーム参加、うちオープン参加1チーム）

48.272km 優勝：秋田工業A（2時間29分46秒）
※大会新

準優勝：一関学院（2時間34分52秒）

3位：学法石川（2時間35分01秒）

【中学生】（6チーム）

24.136km 優勝：花輪第一中学校（1時間21分58秒）

6位：大潟中学校（1時間33分12秒）

（三浦健太・安東謙真・下間颯太・矢久保展・土橋右京・藤村知輝・斉藤壮）

女子ロードレースは72名が参加し、どの選手も力強い走りを見せてくれました。主な結果は次の通りです。

《女子ロードレース》

【中学生・3km】

優勝：南條 佑佳（秋田南中）（10分30秒）

準優勝：鈴木 優花（中仙中）（10分39秒）

3位：福島 日和（花輪第一中）（10分41秒）

【一般、高校・5km】

優勝：三ヶ田 楓（花輪高）（16分34秒）

準優勝：渋谷 未来（花輪高）（16分47秒）

3位：成田 利奈（花輪高）（16分57秒）



大潟中学校も健闘しました

耕心会が秋田県特別表彰を受彰

県の記念日の8月29日（金）、秋田県庁において秋田県特別表彰授与式が行われ、大潟村年金受給者協議会（会長：小玉喜美雄氏、通称：耕心会）が、自発的な活動により個性的で魅力ある社会づくりに貢献した団体として、秋田県特別表彰を受彰しました。

大潟村年金受給者協議会は、「農業経営の第一線は退いたものの、何か村づくりに協力できないか」との考えから平成4年に結成され、その趣旨に賛同された方々が集まり会員数は160名にもなっており、菜の花管理やボランティアによる桜と菜の花祭りの菜の花無料摘み取りコーナー等、多岐にわたる活動を行っております。

受彰されました会員の皆様におかれましては、誠におめでとうございます。今後も、村内各種イ

ベントや高齢者の生きがいづくりとして、独創的で魅力的な活動をよろしく願います。



耕心会会長、小玉喜美雄氏（中央）

男鹿半島・大潟ジオパーク推進協議会の学習会が行われました

9月6日は男鹿半島・大潟ジオパークが日本ジオパークに認定された記念日です（平成23年9月6日登録認定）。男鹿半島・大潟ジオパーク推進協議会では、この日に合わせ、学習会とともに、ジオパーク活動の原点ともいえるべき貴重なジオサイトの保全活動として、安田海岸のクリーンアップを実施しました。

当日は大潟村と男鹿市を中心に50人が参加。約2時間のクリーンアップの結果、2トントラックと軽トラックの荷台が満載となるほどのゴミが回収されました。

午後からは干拓博物館を会場に、平成27年度に予定されている再認定審査に向けた学習会を開催。「男鹿半島・大潟ジオパークの取り組み」「日本ジオパーク再認定審査の現状」「国民文化祭ジオパークの祭典について」「あきたジオパーク街道の取り組みについて」の報告がなされ、活発な質疑応答が行われました。



50名が参加し、ゴミを拾いました



2トントラックと軽トラいっぱいゴミを回収



活発な質疑応答

第36回 村民駅伝大会



9月9日(火)、村内特設コースで村民駅伝大会が開催されました。

本社を一斉にスタートした全12チーム(オープン参加2チーム含む)は、いきなりのデッドヒート。区間新記録が二人も出た1区を大会新記録で制したのは矢久保展さん(西2-3:白組)でした。

その後のレース展開は、前年の覇者・紫組Aが圧倒的な強さを見せ、2位に1分以上もの大差をつけて2連覇を達成しました。

結果は次のとおりです。

参加12チーム(オープン参加 2チーム含む)

- 1位:紫組A (東3-2、東3-3、北2-4)
三浦健太・馬場英史・斉藤壮・小野友義・青柳佑宜・本庄渉・杉森博光
- 2位:大潟村カントリーエレベーター公社
- 3位:白組 (西2-3・西2-4)



激戦の1区を制した矢久保展さん(右)



2年連続で優勝のゴールテープを切った杉森博光さん(東3-3)

第36回 大潟神社例大祭

9月10日(水)、大潟神社例大祭が開催されました。午前はいくのだしや降りでしたが、午後には雨も上がり、お祭り日和となりました。

商店街では龍勢会の太鼓演奏に始まり、仙北市から参加の田沢湖龍神太鼓保存会の演奏、小学6年生による子ども太鼓、小学5年生女子による手古舞などが奉納されました。

神社までの御輿巡行では、昨年からの交流事業を行っている仙北市の龍神御輿も加わって、威勢の良いかけ声とお囃子が村に響き渡りました。



神社の直前では花棒の奪い合い!



県立大生や小中学生、村内各団体が龍神御輿を担ぎました



田沢湖龍神太鼓と龍勢会のコラボ演奏



6年生によるお囃子。かけ声も気合い十分!

第44回秋田県民スポーツ大会 ボウリング競技結果

【開催日】 8月17日（日）

【開催場所】 ボウルジャンボ秋田（秋田市）

○2チーム戦（45チーム参加）6ゲーム×2

優勝：大潟Bチーム（小松宇拓・小松登紀緒）

（東2-4）

2,573点

○個人総合（男子70名参加）9ゲーム

優勝：小松 宇拓 1,900点

第6位：小松登紀緒 1,785点

個人ハイゲーム賞：大潟村 小松宇拓 267点

個人ハイシリーズ賞：大潟村 小松宇拓 716点



大活躍の小松登紀緒さん（右）宇拓さん親子

第59回桂宮杯全日本学生 水上スキー選手権大会結果

9月4日～7日、大潟村水上スキー場で第59回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会が開催されました。今年は全国から9大学が参加し、男女別にトリック・スラローム・ジャンプの種目が行われました。競技は3種目の合計得点で競われ、主な結果は以下のとおりです。

【男子団体】

1位：立教大学 2位：慶應義塾大学

3位：学習院大学

【女子団体】

1位：立教大学 2位：学習院大学

3位：日本大学

ボートに曳航されジャンプの距離を競うジャンプ競技



小松優里さんがバレーボール で日韓交流

8月16日（土）～22日（金）、第18回日韓青少年交流事業（日本体育協会主催）が韓国全羅北道全州市において開催され、バレーボール競技に小松優里さん（大潟中3年、西2-3）が参加しました。

この事業は、2002年のサッカーワールドカップ大会の日韓共同開催決定を機に、スポーツを通じて日韓両国の親善と友好を深めることを目的に1997年から毎年行われています。

今年は日本選手団として、秋田県からサッカーとバレーボールの2競技において小中学生選手と指導者が派遣され、韓国の中学生と合同練習や親善試合を行いました。また試合以外にも様々な文化交流が行われました。

小松優里さんは、「韓国の文化に触れてとても勉強になったし、沢山の韓国の友達ができた。この経験を大切にしたい。」と語りました。



ゼッケン8番が優里さん

第40回能代市民水泳大会結果

【開催日】 8月31日（日）

【開催場所】 能代市民プール

○男子25m 自由形 一般L

佐藤弘 20秒65（大会新記録）



秋の全国交通安全運動

9月21日（日）～30日（火）、秋の全国交通安全運動が実施されました。村においては、22日（月）に役場ふれあい広場において、街頭指導出発式が行われました。

また、22日（月）～30日（火）には、通学路の交差点に交通安全協会等の関係者が立ち、登校する児童生徒の街頭指導を行いました。

これからの時期は日没が早まってくるので、歩行者は反射材の使用、ドライバーは早めのライト点灯などを心がけましょう。



街頭指導に先立ち行われた出発式

大地の家族像、引っ越ししました

村創立45周年を記念し、新たなシンボルとして産直センター西側に設置されていた「大地の家族像」を、潟の店改修工事に伴いポルダークの湯前の芝生に移設しました。

干拓した大地にしっかりと足を踏まえ、支え合い前進する家族の絆の象徴としての「大地の家族像」、ポルダークの湯にお立ち寄りの際はぜひご覧ください。

【問合せ】産業建設課 ☎ 45-3653



ポルダークの湯前に移転した、大地の家族像

大潟村消防団第3分団、秋田県消防操法大会優勝！ 全国大会へ！！

9月4日（木）、秋田県消防学校（由利本荘市）放水訓練場を会場に、第51回秋田県消防操法大会が開催されました。大潟村からは、支部大会を勝ち抜いた小型ポンプ操法の部、及びポンプ車操法の部に出場し、ポンプ車操法の部では日頃の訓練成果を発揮し、見事優勝の栄誉に輝きました。また、小型ポンプ操法の部では、6位入賞を果たしました。今大会から創設された個人賞には、小型ポンプ操法の部で清塚淳一さん（北1-2）が、ポンプ車操法の部で村上直樹さん（西2-1）、吉原忍

さん（東3-2）がそれぞれ優秀選手賞に輝きました。

なお、ポンプ車操法の部で優勝した大潟村消防団第3分団は、11月8日（土）に東京都で開催される全国大会へ出場することとなりますので、村民の皆さまの応援をよろしくお願いいたします。

また、大潟村消防団では新入団員を募集しています。災害や火事から大潟村を守るため、皆さまのご協力をお願いいたします。地域防災に関心のある方は、大潟村役場 住民生活課まで、ご連絡をお願いいたします。



第1分団による小型ポンプ操法も最後まで健闘



全国大会でも活躍が期待される、第3分団によるポンプ車操法の部

第23回全国市町村交流レガッタ大潟大会 大潟村クルーが大健闘！！



表彰式後、「えがった〜！」のかけ声で一枚

9月20日（土）・21日（日）、県営大潟漕艇場において、全国市町村交流レガッタ大潟大会が行われました。

今大会には、全国ボート場所在市町村協議会加盟30市町村のうち25市町村が参加し、全国各市町村の予選を勝ち抜いた117クルーが集結しました。スタッフや大会役員を含めて約1,050名が会場に集まり、秋晴れに恵まれた2日間、熱いレースが繰り広げられました。

この大会は4人の漕ぎ手と1人の舵手で500mを競漕するもので、性別や漕ぎ手の合計年齢などで8つの種目に分かれており、大潟村からは7種目へ10クルーが出場しました。気を吐いたのは、「艇猿」（真ん中の写真）。最も激しいレースが展開される成年男子の部で競り勝ち、大潟村としてこの種目で初の優勝を見事もぎ取りました。

監督であり漕ぎ手の松橋拓郎さん（東2-1）に「勝因は？」と聞くと、「持論ですが、スタート位置についた時点で勝負は決まっているものなんです。良い練習を積み重ねて、いいウォーミングアップをして試合に臨む。今回はそれが出来たということだと思います。」と語りました。

「艇猿」は、今大会が初出場。高校・大学でボート経験のある松橋さんを中心として昨年の夏に結成しました。昨年の大潟村予選（サマーレガッタ）ではオープン参加でしたが、メンバーはそれ以降、オフシーズンも休まずに練習を積み、今大会に備えてきました。その努力が実を結んだ形。



成年男子の部で見事優勝を果たした、「艇猿」
左から、五十嵐雅敏さん（東2-4）、谷真誠さん（東3-1）、田口雄大さん（東2-6）、齊藤明裕さん（西2-2）、松橋拓郎さん（東2-1）、田中佑弥さん（西2-1）、栢森光さん（東2-4）

前回大会で成年女子の部2位となった「ピーチガールズ」は、優勝を狙って厳しい練習に取り組みましたが、惜しくも3位という結果でした。また、大潟村議会クルーが、議会議員の部で4位に入賞しました。

大潟村は、男女総合成績においても3位となり、地元開催の今大会において大きな存在感を示しました。

次回大会は、石川県津幡町で開催されます。



目標の優勝は逃すも、成年女子の部3位入賞の「ピーチガールズ」（写真手前）。来年の雪辱が期待されます

平成26年4月号から平成27年3月号まで、大潟村創立50周年を迎えるにあたって、これまで村の各機関の代表者及び代表経験者から寄稿をいただくこととしております。

今月号は第7回目として、第2代大潟土地改良区理事長を務められました菅原繁様からいただいた寄稿を掲載いたします。

周辺地域と共に発展してきた50年

第2代大潟土地改良区理事長 菅原 繁



私たちの村が誕生して本年で50年。一口で申しましても幾多の厳しい試練の歴史が刻まれています。それだけに50周年は誠におめでたいことであり、これからの100周年に向けて、これまで築いた大潟村発展の土台の上に更に新しい構想が構築されますことを念願し、大潟土地改良区設立の経緯と初期の厳しい運営について列記します。

入植者一次、二次、三次と村民が多くなり営農による個人所得の権利が発生することに伴い、水使用の管理運営が必須になりました。昭和44年4月20日、土地改良区設立前に10カ所の水系から選出の代議員で構成された八郎潟中央干拓地水管理区連合会で運営し、昭和48年3月には第一工区部分竣工に伴って大潟土地改良区設立認可申請し、同年6月秋田県知事より正式に認可されました。

大潟村の組合員数が461名、面積4,723haに対し、若美町、八郎潟町、山本町、琴丘町、八竜町の五町で組合員数2,076名、面積2,000ha。それでも土地改良区1人一票の権利が法的に存在しており大潟村の組合員数は五町の4分の1ですが経費の負担金は2倍以上でした。

10ヶ所の水系の水上に周辺五町の耕作田が位置していることから政治的内容も多分に絡み、認可申請の検討委員会では様々な議論がありました。そうした状況において、秋田県庁の農地管理課から安東鉄治様が八郎潟村役場に2年間出向し常時指導助言を戴きました。

昭和45年に減反政策・新規開田抑制が施行され、本来続けて募集されるべき5次入植募集が中止されました。昭和49年に入植が再開され、更に残余の土地を一人5ha追加配分され大潟村の全農家が15haの経営になりました。それに伴い、大潟村の組合員と周辺五町の組合員との面積差がさらに大きくなり、52年4月に土地改良区第2工区が竣工されるころには、大潟土地改良区の円滑な経営にはますます努力が要求される実体でありました。

その時点での秋田県有地なり畜産団地なりのその後の動きについては、今ここで触れるべきではないと思います。

認可申請の議論の内容について総代の定数執行

機関の理事定数・監事定数によろしく合意のうえ、大潟村理事11名（設立以来41年経た現在理事7名）、監事2名、増反関係市町で旧山本町受益面積も11ha、監事1名他の4市町は理事2名ずつ（現在4市町村各理事1名）となりました。設立当時に定款で定めた理事は19名でしたが、現在は11名の理事と監事3名で運営されています。

「八郎潟新農村建設計画」という高邁な理想に燃える事業団事業も幾多の難事業を完了しました。南部、北部、浜口の3排水機場は秋田県が管理運営し、10ヶ所の取水口は土地改良区が臨時の農家の方に依頼管理しています。

土地改良区設立以来41年です。新農村建設事業団が発足当時これを推進しました。八郎潟干拓という難事業を実現なされた故小畑勇二郎知事は、周辺住民の賛成を得るにあたり、「皆さんが毎年頭を悩ませている、稲収穫時期の風水害。三千ha余りの稲が大被害で受難したが、52km余の堤防で大潟村も周辺農家も安心して営農が出来得る」とおっしゃいました。

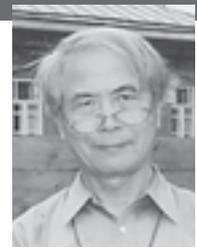
自立農家育成のため、漁家には1ha、自作地の多い農家には0.5haの農地が配分されました。大潟土地改良区設立当時は2,079戸あり大潟村と共に健全な農家でしたが、農家個々の経営面積では後継者も他産業に就職し、農業機械も大型に更新する時期に入り、増反農家が少なくなりました（全国どの地域でも農地が少なくなりました）。この50年を共に発展してきた土地改良区の仲間として残念です。

事業団事業完了と同時に土地改良区施設管理用地として6ヶ所673,873㎡常に使用しています。大潟村の墓地公園敷地と大潟神社の境内の土盛も宗教に関係なく達成されたのも、村の誕生50年に特記されるべきでしょう。

大潟村、大潟土地改良区が、今後も周辺地域と共に発展していくことを願ってやみません。

大潟村情報発信者コラム

希有な村、大潟村



彫刻家 鎌田 俊夫

ロシアから大鵬像制作の依頼が届いた後、さっそく私は用意していたイチョウの大木に直接デッサンし、チェーンソーを入れました。私の提案の仕方（裸か着衣か）もまずかったのですが、ポロナイスク市側は着衣姿（羽織・袴）を求めてきました。もしそのまま彫り進めれば和服姿の大鵬像ができあがっていました。ところが、直接大鵬夫人にお会いしお話を伺ってみると、やはり「化粧まわしに綱」ということでしたし、サハリン州知事顧問のヴィシネフスキー氏も同意見であることがわかり、急遽私は像の態様を変えることにしました。そしてこの内容で私はポロナイスク市側の説得にまわったわけです。

最初和服姿で彫り進めた結果、綱の部分の量が不足し、止むを得ず同じ材料で「寄せ木」を施しています。ともあれこの作品が一木（いちばく）であることに違いはありません。

様々な意見もありました。「3Dの機械を使えばもっとソックリ」、「もっと太った時のを」etc こういう雑音を私は無視しました。この作品は大鵬のある一瞬の再現（コピー）ではなく、私の解釈に基づく私の表現なのですから。私は私の理想・アイデアを彫るのです。

あのミケランジェロも「ロレンツォ」を彫っているとき、やはり「似ていない」とか様々な雑音が聞こえてきたとき、面倒だから言ったそうです。「100年も経てばロレンツォになる」と。

しかしこの大鵬像は、スナップ写真や似顔絵とは別の次元で、やはり「似ている」必要がありました。そこで例えば彼の頭部ですが、年齢に関係なく変わらない頭蓋骨の構造を研究しました。そして発見した頭部の固有のフォルムが、「似ている」根拠となっています。

芳子夫人が「出会いの頃の大鵬関を思わせる」と感動されたその一事に私は万事をみる思いがいたします。

ほぼ一年間私は制作に集中し思い通りの作品に完成させました。それというのも、「制作に専念して下さい。募金活動などあとはすべてこちらにまかせて下さい。」とすぐさま行動を開

始し、瞬く間に目標を達成されたこの村のリーダー、多くの支援者の方々の存在があればこそでした。こういう希有な人々、、希有な村。それが大潟村です。大潟村からスタートしたこのプロジェクトは海を越えて、ロシア、サハリン、ポロナイスク市で結実し、ニュースは地球を駆けめぐりました。文化・芸術の分野でも大潟村はその存在を世界に示しました。私と妻・久美子が関係者を代表して、除幕式と祝賀レセプションに臨みました。重い使命を果たしたと自負しています。



4月、木彫原型の完成記者発表会にて。「これは大鵬のコピーではありません。ある部分は強調し、ある部分は省略する。私のイメージする“大鵬らしい大鵬”なのです。」と、身振り手振りを交えて語る鎌田氏

「一日行政体験事業」「村づくり懇談会」開催と一般参加者募集のお知らせ

○一日行政体験事業

「行政の仕事ってどんな仕事？」という、行政の仕事に対する疑問にお答えします。各担当業務について分かりやすく説明するとともに、実際に業務を体験していただきます。参加希望の方は、お申し込みください。

【日時】10月29日（水）10:00～13:15 ※昼食は役場で用意します

【場所】役場2階 第1会議室ほか

【申込・問合せ】10月10日（金）までに総務企画課へ ☎ 45-2111

※希望する業務がある場合、申込時に住所・氏名とともにお伝えください。

○「村づくり懇談会」

村づくり懇談会は、村長・副村長・教育長・各所属長が出席し、主に次のテーマについて皆さんの要望や意見にお答えします。申込は不要です。当日参加できない方は、前日までに書面（FAX可）または電子メールで意見をお寄せ下さい。後日回答をいたします。

【日時】10月29日（水）13:30～15:00

【会場】役場2階 第1会議室

【懇談のテーマ】

1. 村創立50周年記念事業について《担当：総務企画課》
2. 防災対策（デジタル防災行政無線、地域防災計画、など）について《担当：住民生活課》
3. 自然エネルギーについて《担当：環境エネルギー室》
4. 橋梁・下水道の長寿命化計画について《担当：産業建設課》
5. 大潟村子ども・子育て支援事業計画について《担当：教育委員会》

【書面送付】10月28日（火）までに総務企画課へ FAX45-2162 電子メールogata_mura@ogata.or.jp

【問合せ】総務企画課 ☎ 45-2111

10月20日（月）～26日（日）は行政相談週間です

総務省では、大潟村を担当する行政相談委員として、次の方を委嘱しています。

行政相談委員は、総務大臣からの委嘱を受け、国の仕事などについての苦情や意見、要望を受け付け、皆さんと関係行政機関等との間に立って、その解決を図る、いわば「行政と住民とのパイプ役」です。下記のとおり相談所を開設しますので、お気軽にご相談ください。

【行政相談委員】北村シゲ（西3-4、☎ 45-2918）

【行政相談日時】10月21日（火）10:00～12:00

【相談会場】役場旧庁舎2階 第2委員会室



イオン五城目店ででのキャンペーン（9/20）の様子

大 潟村創立50周年記念祝賀会、大潟村創立50周年村民大祝賀会について

村民の皆様へ、大潟村創立50周年記念式典（11月23日）及び大潟村創立50周年村民大祝賀会（11月24日）のご案内状を送付しております。（案内状は、世帯主様宛で送付しております。）

回答期限が9月30日までとなっておりますが、まだ受付しておりますので返信用のハガキで、回答して下さるようお願いいたします。多くの村民の方々の参加をお待ちしております。

選挙管理委員会からのお知らせ

選挙管理委員会 ☎ 45-2111

20歳を前に村を離れた方が戻ってきた場合はご連絡をお願いします

20歳になると選挙権を有しますが、選挙権をもっているにもかかわらず、実際に投票するためには、選挙管理委員会が管理する「永久選挙人名簿」に登録されていなければなりません。そこで選挙管理委員会では、20歳になった時点で、村の住民基本台帳に登録されている方が村に居住しているかを確認しています。居住していない場合は、村の永久選挙人名簿に登録されません。従って、選挙の際に入場券が送付されることはありません。20歳前に村を離れ、現在は村に戻っている場合は、選挙管理委員会に連絡してください。選挙管理委員会で確認してから3か月経過後に、村の永久選挙人名簿に登録されます。

【問合せ】選挙管理委員会 ☎ 45-2111

住民票が村にあっていても実際に居住されていない方の選挙権について

選挙権等を規定している、公職選挙法第9条第2項及び第21条における「住所」とは、生活の本拠を指すものです。このことから、住民票が村にあっていても実際に居住されていない方については、村において選挙権が与えられないこととなります。裁判の判例においても「住所の認定は客観的事実（起臥、私生活）の存在で足り、本人の住所確定意思の存在は必要としない」というものが出ております。

公職選挙法では、選挙権の行使を容易にする為に住所要件を設けたものでありますので、速やかに実際の居住地へ住民票を異動いただきますようお願いいたします。

【問合せ】選挙管理委員会 ☎ 45-2111

住民生活課からのお知らせ

住民生活課 ☎ 45-2114
地域包括支援センター ☎ 22-4321

ポルダール湯の湯優待券を配布しています

高齢者・ひとり親家庭・心身に障がいのある方を対象に配布している「ポルダール湯の湯優待券」の後期分を配布中です。

また、今年度中に70歳を迎える方も誕生日から対象となりますので、役場住民生活課窓口までご本人またはご家族の方がお越しの上お受け取りください。

なお、優待券は、配布されたご本人しかご利用できませんので、ご注意ください。ただし、次に該当される方は、ご本人以外も利用できます

- 介助が必要な方・・・介助をする方
- ひとり親家庭の父または母・・・同じ世帯のご家族

【利用期限】平成27年3月31日までの間利用できます。

【問合せ】住民生活課 ☎ 45-2114

介護予防教室「いきいき元気の集い」

いきいきとした生活が出来るように、歌や体操、ゲームをしながら楽しく過ごします。

【日時】10月7日（火）・11月4日（火）

10:30～11:30

【場所】ふれあい健康館

【対象】おおむね65歳以上

【問合せ】地域包括支援センター ☎ 22-4321

転倒予防教室「元気!はつらつ教室」

転倒などによる寝たきりを予防し、自分らしい生活が送れるように、運動を通して筋力の維持、向上をはかります。

【開催日】10月8日、15日、11月5日（全て水）

【時間】午後1時30分～3時

【場所】ふれあい健康館

【対象】おおむね65歳以上

【問合せ】地域包括支援センター ☎ 22-4321

【臨時福祉給付金】・【子育て世帯臨時特例給付金】の申請は10月22日までです。

平成26年4月から消費税率が8%へ引き上げられていますが、所得の低い方々や子育て世帯の方々への負担の影響に鑑み、暫定的・臨時的な措置として、国が「臨時福祉給付金」または「子育て世帯臨時特例給付金」を支給します。

平成26年1月1日時点で、住民票が大潟村にある方が対象です。

臨時福祉給付金の対象となられた方は、子育て世帯臨時特例給付金を併せて受給することはできません。

	臨時福祉給付金	子育て世帯臨時特例給付金
給付対象者	平成26年度分村民税が課税されない方 (ただし、ご自身を扶養している方が課税されている場合、生活保護受給者である場合などは対象外です) ※6月中に、税務会計課から村民税納付書が発送された方は、該当になりません。	次のどちらの要件も満たす方 ①平成26年1月分の児童手当・特例給付を受給 ②平成25年の所得が児童手当の所得制限限度額未満
支給額	1人につき 1万円 老齢基礎年金、障害基礎年金、遺族基礎年金、児童扶養手当、特別障害者手当等の受給者は、さらに 1人につき 5千円を加算	対象児童1人につき 1万円 ※ただし、「臨時福祉給付金」の対象者となっている児童、生活保護の受給者となっている児童は除きます
申請用紙	対象と見込まれる方へ別途郵送の申請書 【A】臨時福祉給付金申請書(請求書)	対象と見込まれる方へ別途郵送の申請書 【B】子育て世帯臨時特例給付金申請書(請求書)
申請期間	7月22日(火)～10月22日(水)	
申請先	大潟村 住民生活課 (☎ 45-2114)	

【認知症】認知症サポーターになってみませんか？

《認知症サポーターとは》

「認知症サポーター」は、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者です。

受講後に特別な活動を強制されるものではありません。友人や家族へ、学んだ知識を伝えたり、日常生活での見守りや声掛け等、できる範囲の手助けをすることが活動です。

《内容や時間は》

認知症の症状について、認知症の人と接する時の心がまえや介護している人の気持ちの理解などを、冊子やビデオ・DVD上映などで学びます。時間は1時間半程度です。

《講座を開くには》

自治会や各団体・企業・学校など、皆さまからのご希望により開催いたします。

また、ご近所や友人の集いなどの少人数でも構いません。時間帯や場所は、ご希望に添えるよう調整いたしますので、お気軽にお問い合わせ下さい。受講料は無料です。

なお、開催前に全国キャラバンメイト連絡協議会への届け出が必要なため、お早めにご連絡頂ければ幸いです。

★ロバのように急がず、しかし、一步一步着実に進んでいきましょう！★



【問合せ】地域包括支援センター ☎ 22-4321

住民生活課からのお知らせ

保健センター ☎ 45-2613

個別受診勧奨(コール・リコール)事業をおこないます。

対象の方には、下記の日程で「大腸がん検診のおすすめ」の電話をします。

《10月9日(木)～15日(水)にお電話します》

対象は、村の総合検診で大腸がん検診を受けると回答した方、過去3カ年村の大腸がん検診を受けていない方です。「がん検診コールリコールセンター」から電話で検診案内をします。

【電話の内容】 検診のお勧めです。

《11月17日(月)～21日(金)にお電話します》

対象は、村の総合検診で大腸がん検診を受けると回答した方で、検診を受けなかった方です。「がん検診コールリコールセンター」から電話で追加検診の案内をします。

【電話の内容】 追加検診のお勧めと申し込みをとります。

*大腸がん検診の追加検診は12月8日(月)、9日(火)を予定しています。

【問合せ】 保健センター ☎ 45-2613

26年度季節性インフルエンザ予防接種(ワクチン接種)について

10月1日からインフルエンザワクチンの接種が開始されます。

流行する前にワクチンを接種しましょう。(接種期間平成26年10月1日～平成27年2月28日)

【季節性インフルエンザ予防接種への大潟村の助成制度】

インフルエンザ予防接種については、皆さんの判断で接種していただくこととなりますが、大潟村では、希望される方の費用負担を軽減するために、下記のように助成します。

対 象	提示書類	補助額
1. 生後6カ月～中学3年生 (13歳未満は2回接種)	母子健康手帳 又は 各種健康保険被保険者証	1回・2回目 各2,000円
2. 65歳以上の方	各種健康保険被保険者証 又は 住民票	1回 1,000円
3. 障がいのある方	各種健康保険被保険者証 又は 住民票及び障がいを 証明できるのもの	全額
4. 上記以外の方で、 村診療所で接種する方	各種健康保険被保険者証 又は 住民票	1回 1,000円

【接種の手順】

①接種日を予約する。

・接種を行っている医療機関に連絡して予約します。

※基礎疾患のある方は、かかりつけ医の指導を受けてください。

※接種を行っていない医療機関もありますので、医療機関に直接問い合わせるか、大潟村保健センター(45-2613)までお問い合わせください。

②提示書類を持って受診する。

【問合せ】 保健センター ☎ 45-2613

総

合検診を実施します

生活習慣病予防・がんの早期発見のため、年に1回は健康診査・がん検診を受けましょう。

【総合検診の日程】

月 日	対象住区
10月22日(水)	75歳以上の方、障がいのある方の受診日
23日(木)	東3-1、東3-2、東3-3
24日(金)	東2-4、東2-5、東2-6、東3-4、中央
27日(月)	西1-1、西1-2、西1-4、西2-1
28日(火)	西2-2、西2-3、西2-4、西3-1、北1丁目
29日(水)	西3-2、西3-4、東2-1、東2-3、北2-4

【受付時間】

- 6:30～9:30 特定健診・後期高齢者健診・胃がん検診・大腸がん検診・前立腺がん検診・肺がん等検診
肝炎ウイルス検診
- 12:30～13:30 子宮がん検診・乳がん検診
(22日は子宮がん検診、乳がん検診はありません)

【場 所】 保健センター

【料 金】

検診項目		料金
特定健診	40～74歳(国保加入者)	無料
	39歳以下	1,100円
後期高齢者健診(75歳以上)		無料
胃がん検診		900円
子宮がん検診(頸部・超音波検査)		1,200円
乳がん検診	触診・マンモグラフィー方向 (50歳以上)	1,400円
	触診・マンモグラフィ二方向 (40歳代)	2,000円
大腸がん検診		500円
肺がん等検診	胸部X線撮影	400円
	喀痰検査	600円
前立腺がん検診		500円
肝炎ウイルス検診		700円



●昨年度から肺がん検診と結核検診を統合し、肺がん等検診として実施します。

65歳以上の方は年に1度はレントゲン撮影を受けてくださるようお願いいたします。

●村は国民健康保険の保険者の立場で、国保の被保険者の40～74歳の方を対象に特定健診を実施します。国の医療制度改革により、平成20年度から保険や健康保険組合などの医療保険者に、40歳以上の被保険者に対する内臓脂肪型肥満に着目した「特定健診・特定保健指導」の実施が義務づけられています。

・39歳以下の方については、ご加入する医療保険に関わらず、これまでどおり村の健診を受けることができます。

・国保以外の医療保険の被扶養者の方については、医療保険者が発行する「特定健診受診券」を持参すれば、村で実施する健診を受けることができます。

【問合せ】 保健センター ☎ 45-2613

住民生活課からのお知らせ

保健センター ☎ 45-2613

水痘予防接種のお知らせ

水痘予防接種が10月1日より定期予防接種となり、接種対象者は公費（無料）で接種することができるようになりました。

○接種対象年齢及び接種回数

【対象年齢】

生後12月から36月に至るまでの間にある方（1歳の誕生日の前日から3歳の誕生日の前日まで）

【接種回数】

3月以上の間隔をおいて2回接種

【標準的な接種年齢】

- ・初回接種：生後12月から15月に至るまでの間
- ・追加接種：初回接種終了後、6月から12月に至るまでの間隔をおく
平成26年度に限り（平成26年10月1日～平成27年3月31日まで）
生後36月に至った日の翌日から生後60月に至るまでの間にある方（3歳の誕生日当日から5歳の誕生日の前日までの方）も定期接種の対象となります（この場合は1回接種）。

※水痘に罹ったことがある方は、すでに免疫を持っているので、接種する必要はありません。

※すでに、水痘の予防接種を受けたことがある方は、接種した回数分受けていることになります。

【問合せ】保健センター ☎ 45-2613

高齢者の肺炎球菌予防接種のお知らせ

高齢者の肺炎球菌予防接種が10月1日より定期予防接種となりました。予防接種を希望される高齢者の方に、接種費用の一部を助成します。

○接種対象年齢及び接種回数

- ① **【対象】** 1) 65、70、75、80、85、90、95、100歳、101歳以上の方（平成26年度に各年齢になる方）
2) 60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器の機能に自己の身の周りの日常生活が極度に制限される程度の障害や、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害がある方

【接種回数】 1回接種

【補助額】 3,000円（接種料金から補助額を引いた額が自己負担額になります）

【接種場所】 県内の委託医療機関で接種可能

- ② **【対象】** ①の年齢以外の65歳以上の方

【接種回数】 1回接種

【補助額】 村診療所で接種の場合のみ村が3,000円補助（接種料金から補助額を引いた額が自己負担額になります）

※すでに、肺炎球菌（ニューモバックスNP）の予防接種を受けたことがある方は定期接種の対象者にはなりません。

※過去5年以内に肺炎球菌（ニューモバックスNP）の予防接種を受けたことがある方が、再度接種された場合、初回接種よりも注射部位の痛みや腫れが強くなる場合があります。接種歴を確認して接種してください。

【問合せ】保健センター ☎ 45-2613

平成27年度未来農業のフロンティア
育成研修生募集!!

平成27年4月より2年間、実習や講義を通じて農業経営に必要な知識や技術を習得することができます。1年目は県内各試験場で研修し、2年目からは県内先進農家等で実践的な技術等を身につけることができます。

【研修コース】

研修先	研修コース
農業試験場	作物、野菜、花き
畜産試験場	酪農、肉用牛
果樹試験場	りんご、なし、ぶどう
花き種苗センター	花き

【応募資格】

- ①農業後継者、または新たに農業を始める方で、就農意欲の高い方。
- ②研修終了後、確実に県内に就農できる方。
- ③応募時点で年齢が45歳未満の方。

【受付期間】

10月16日(木)まで

※申し込みをお考えの方はお早めにお問い合わせ下さい。

【申込み先】 役場 産業建設課

【その他】

- ①募集人数には限りがあります。
- ②書類審査、小論文、面接試験があります。
- ③研修期間中は研修奨励金または青年就農給付金(準備型)を受給できます。
- ④詳細な募集要項は、県HPに掲載されています。

【問合せ】 産業建設課 ☎ 45-3653

第2回 農地の借受希望者の募集

～農地の貸付希望者の受付も随時行っています～

公益社団法人秋田県農業公社では、農地中間管理機構として、農用地等の借受を希望する者の募集を行い、機構の貸付ルールに基づき、農用地等の貸付けを行います。

【応募方法】

産業建設課の窓口に応募用紙を用意してあります。また、機構(農業公社)のホームページから応募用紙を出力、記入の上、機構へ直接電子メールで応募することもできます。

※他市町村の地域にも応募できますので、ご相談ください。

【募集期間】

10月10日(金)～11月10日(月)

※第1回目(7月に実施済)の公募に応募した方は、翌年度の第1回公募まで応募が継続されるため、今回応募の必要はありません。

※今年度の公募は3回(次回12月19日から1月26日まで)行います。

【公表について】

応募された方の氏名等を、募集期間終了後に機構(農業公社)のホームページに公表します。

【貸付希望】

農地を機構に貸したい希望者(出し手)については、随時受付していますのでご相談ください。

【問合せ】 役場 産業建設課 ☎ 45-3653

公益社団法人 秋田県農業公社 ☎ 018-893-6223

10月18日(土)・19日(日)の2日間、秋田駅～東能代駅間をSLが運行します。

このイベントは、秋田県全体で実施されるアフターDC(ディスティネーションキャンペーン)の一環として行われるもので、各駅の停車時間も決定しております。

大潟村と隣接する八郎潟駅には、全区間の中で、最も長く停車する予定です(始発駅・終点駅は除く)。

各停車駅では、住民による手振りが行われる予定となっておりますので、村民の皆様におかれましても可能な限り、八郎潟駅での手振りをお願い致します。

※手振りについては、八郎潟駅に限らず、線路沿いであればどこでも可能ですが、安全面には細心のご注意をお願い致します。

【各駅の到着・出発時間】 ※2日間共通。

市町村	停車駅	到着	出発	到着	出発
八郎潟町	八郎潟	10:30	10:45	15:10	15:34
三種町	鹿渡	11:01	11:02	14:54	15:03
	森岳	11:13	11:18	14:40	14:44

【問合せ】 産業建設課 ☎ 45-3653

ふるさとCM放送予定時間

■ 10月の大潟村受賞CM放送日時(秋田朝日放送)

放送日	1	2	3	6	7	8	9	10	13	14	15
時間	10:00	5:22	14:55	4:52,10:00	10:00	10:30	10:00	5:22	5:22	4:52	5:22
放送日	16	17	20	21	22	23	24	27	28	29	30
時間	4:52	10:00	14:00	5:22	5:25	4:52	4:52	5:22	10:30	5:22	10:00

※放送時間は予定であり、変更になることがあります。

【問合せ】 産業建設課 ☎ 45-3653

産業建設課からのお知らせ

産業建設課 ☎ 45-3653

新 米まつりinおおがた

今年の「新米まつりinおおがた」は、ホテルサンルーラル大潟前を会場に開催します。恒例のイベントに加え、秋の新米まつり歌謡ショー、米粉グルメの試食販売、特産品が当たる抽選会や募金も実施されます。お誘い合わせの上ご来場下さい。

【日時】10月5日（日）9:00～15:30

【会場】ホテルサンルーラル大潟前

【イベント】

9:00 開会、龍勢会よる八郎太鼓

10:30～ 餅つきイベント（試食無料）

12:00～ 秋田県産和牛即売会

（10:00～整理券配付、限定100名、1人3パックまで）

13:00～ 餅つきイベント（試食無料）

14:00～ 秋の新米まつり歌謡ショー【ゲスト：大泉 逸郎】

その他 米粉グルメ試食販売、大潟村産新米大特価販売、特産品等の販売

【問合せ】産業建設課 ☎45-3653



教育委員会からのお知らせ

公民館 ☎ 45-2611
干拓博物館 ☎ 22-4113

国 民文化祭いよいよ開幕!

国民文化祭が10月4日（土）から秋田県内全域で始まります。

国民文化祭は、全国各地で様々な文化活動に親しんでいる個人や団体が、日頃の活動の成果や実力を披露し、交流する「国内最大の文化の祭典」です。

大潟村ではジオパークの祭典のジオツアー（10月18日、20日）と川柳の祭典（10月18～19日）が開催されますので、みなさん、地元開催の国民文化祭に参加してみませんか。

《ジオパークの祭典》

湖底に誕生した大地・大潟村を巡るジオツアー

【開催日】10月18日（土）12:00～17:00

10月20日（月）8:30～13:00

【集合・解散】ホテルサンルーラル大潟 【募集人数】各40名

【参加料】3,000円（事前申込が必要です）

【内容】大潟村の誕生から地球の広がりまで、男鹿半島・大潟ジオパークの魅力を凝縮したツアーです。

【問合せ】干拓博物館 ☎ 22-4113

《川柳の祭典》

【開催日】10月18日（土）18:00～20:00 前夜交流会（申込者のみ）

10月19日（日）9:00～16:00 川柳の祭典

【会場】ホテルサンルーラル大潟

【内容】当日投句の受付

小学生・中学生の部の披講、講評、表彰

アトラクション

高校生・一般の部 前日投句の披講、講評

当日投句の披講、講評

高校生・一般の部の表彰

【当日投句】受付時間は9:00～10:30まで。

お題は「ちぐはぐ」「マナー」「美人」。

事前投句をされていない方は1,000円の投句料がかかります。

【問合せ】公民館 ☎ 45-2611



教育委員会からのお知らせ

公民館 ☎ 45-2611
村民体育館 ☎ 45-2269

大 潟村創立50周年記念事業 「中学生ドリームスピーチコンテスト」「小出 義雄 監督講演会」開催のお知らせ

創立50周年を迎えた干拓地大潟村と、隣接する周辺市町の12中学校の生徒達が、将来の夢や希望を自らの主張をとおして創造性豊かに発表します。
スピーチコンテスト終了後には、「小出 義雄監督の講演会」が開催されます。子ども達の夢と小出監督の講演をお楽しみに。



- 【開催日】** 11月14日（金）13:00～16:30
【会場】 大潟中学校体育館
【日程】 13:00 開会
 13:10 スピーチコンテスト
 14:40 講演 「きみならやれば出来る」
 講師 佐倉アスリート倶楽部
 代表・監督 小出 義雄 氏
 15:50 質問コーナー
 16:10 表彰式（講評、成績発表、表彰）
 16:30 閉会

【申込・問合せ】 11月4日（火）までに教育委員会へ ☎ 45-3240
【その他】 入場無料ですので、お誘い合わせの上お越し下さい。

※小出監督の講演会を聴かれる方は、14:30まで中学校体育館にお集まり下さい。スピーチコンテスト開催中の出入りは禁止させていただきます。なお、上履き又は内ズックをご持参下さい。

大 潟村きらきら塾 『ハロウィンパーティー』

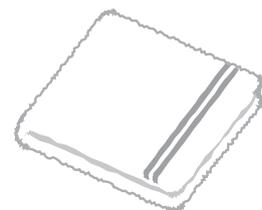
友だちとゲームや英語を使ってパーティーを楽しみましょう。

- 【日時】** 10月25日（土）9:50～12:00
【会場】 公民館大集会室 **【講師】** 森田千尋 氏
【対象】 幼稚園児（保護者付添）・小学生
【定員】 30名（定員になり次第締切）
【参加費】 100円
【申込・問合せ】 10月15日（水）までに公民館へ
 ☎ 45-2611

B & G プールの忘れ物

B & G プールに忘れていったタオルやゴーグル・メガネなどを村民体育館で預かっています。心当たりのある方は確認をお願いします。

【問合せ】
村民体育館 ☎ 45-2269



新 しい図書、入りました（9月分）

秋といえば、やっぱり「読書の秋」ですね。公民館図書室では、最近話題の本やリクエストのあった本などを中心に、様々なジャンルの本を取りそろえています。日頃から読書を楽しんでいる方はもちろん、普段はあまり読まないという方も、図書室に本を探しに来てみて下さいね。

【問合せ】 公民館 ☎ 45-2611

No.	タイトル	著者	No.	タイトル	著者
1	どろにやいと	戌井 昭人	5	銀翼のイカロス	池井戸 潤
2	貴様いつまで女子でいるつもりだ問題	ジェーン・スー	6	うみの100かいだてのいえ	いわい としお
3	死ぬまでに行きたい! 世界の絶景 日本編	詩歩	7	妖怪交通安全	広瀬 克也
4	常識にとらわれない100の講義	森 博嗣			

教育委員会からのお知らせ

村民体育館 ☎ 45-2269
子育て支援センター ☎ 45-2345

体 育館を月曜日も開館します。

11月から3月の冬期間は休館日である月曜日を一部開館します。健康、体力づくりに有効活用してください。月曜日の開館時間と利用対象は次のとおりです。

【午後の部】13:00～16:00 一般開放 【夜間の部】17:00～22:00 団体利用開放

※9:00～13:00は清掃等のため休館します。

【問合せ】村民体育館 ☎45-2269

ス ポーレおおがた11月教室

大潟村国保・スポーレおおがた共同開催

村民ウオーキングin平泉中尊寺&毛越寺

【日時】11月8日(土) 村民体育館集合・出発 6:30

【場所】平泉中尊寺・毛越寺 【参加費】1,500円(保険料・拝観料) 【その他】雨具・昼食(外食可)

【申込・問合せ】10月31日(金)まで次のどちらかへ。

住民生活課 ☎45-2114 スポーレおおがた(村民体育館内) ☎45-2269



☆11月の教室予定☆

種 目	日にち	場 所	時 間	備 考
自力整体	5	村民センター	10:00	ジュータンの間
3B体操	7	健康館	19:30	
ジュニア複合	5	村民体育館	16:00	
高齢者ラージ卓球	5	健康館	10:00	
ユニカール	5	健康館	10:00	
ストレッチポール	4	健康館	19:30	
村民ウオーキング	8	平泉中尊寺&毛越寺	6:30	村民体育館出発

☆生活ヨガ教室☆

※生活ヨガ教室が11月から復活します!!腰痛、膝痛等々の改善にとっても効果があります。初めての方でも大丈夫、ご参加下さい!

た のしさいっぱい!子育て応援!!子育て支援センター

子育て支援センター(幼稚園内)は、0歳児から5歳児の未就園児とその保護者がいっしょに遊べるよう、幼稚園を開放しています。

また、子育てに関する悩みなどの相談にも乗っていますので、お気軽にお越し下さい。

【開設日時】

月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く)

午前 9時30分～12時00分

午後 1時00分～3時30分

また、イベント『さくらんぼクラブ』では、季節の行事や手遊び、簡単な制作など親子一緒に楽しめるものを計画しています。お友だちをつくりたい方、子どもを存分に遊ばせたい方、ぜひ遊びにきてください。

<10月のさくらんぼクラブ>

～親子で楽しく体を動かそう～

10月4日(土)9:00～

『みんなあつまれ!よーいどん!!』(幼保合同運動会・らんらんフェスタ)

【場所】大潟幼稚園園庭(雨天時 村民体育館)

～ふれあい消防を楽しもう～

10月9日(木)10:00～11:00

『かんたくん・ピッポちゃんとなかよし』(保育園開放日)

ミニ消防車やミニ救急車の試乗体験もできます。

【場所】大潟保育園(当日受付 保育園正面玄関)

<11月のさくらんぼクラブ>

～野菜スタンプで遊ぼう～

11月6日(木)10:00～11:00

『べったんスタンプ遊びをしよう!』

【問合せ】子育て支援センター(幼稚園内)

☎45-2345

農業委員会からのお知らせ

農業委員会 ☎ 45-3654

ボ ジョレーヌーヴォー樽パーティー
参加者募集

【日時】 11月22日（土）18:00～

【会費】 男性2,000円／女性1,000円

【定員】 男女各15名

※先着順（最少遂行人数男女各8名）

【参加資格】

女性：20歳～45歳くらいまでの独身の方

男性：20歳～45歳くらいまでの大潟村在住の独身の方

【申込期間】

10月20日（月）～11月7日（金）

【問合せ】

農業委員会 ☎ 45-3654

**出** 会いを希望される方はあきた結婚
支援センターをご利用ください

あきた結婚支援センターは、秋田県や県内全市町村、各種団体が共同で設立した任意団体です。

センターでは結婚を希望する方の出会いを応援するため、会員登録制によるマッチング（お見合い）を行っています。

・個別マッチングシステム会員

入会すると、あらかじめ登録された会員の中から、お相手をパソコン検索システムにより選び、マッチングの申し出を受けた場合には、センターで個別にお会いすることができます。

あきた結婚支援センターの入会登録料（1万円）は大潟村が全額負担しますので、入会登録時の本人負担はありません。

【問合せ】 農業委員会 ☎ 45-3654

情報・募集・ご案内

（公財）秋田県国際交流協会から

「あきた国際フェスティバル2014 @アトリオン」
で楽しみながら国際交流！

県内の国際交流団体や在住外国人による出展ブース、世界の伝統舞踊や音楽などのステージパフォーマンス、世界の食を味わうフードブースなど世界を身近に感じる2日間。ぜひお気軽にご来場下さい。入場無料。

【日時】 10月18日（土）、19日（日）

10:00～17:00（2日目は16:00まで）

【場所】 アトリオン（秋田総合生活文化会館）
イベント広場・多目的ホールB/C

【問合せ】 （公財）秋田県国際交流協会

☎ 018-893-5499

HP：http://www.aiahome.or.jp

遠くまで国花苑に行ったときのこと。

in 大潟幼稚園

十二支の石像前で
先生「これ十二支になってるね。」
A男「十二支知ってる。絵本で見たよね。」
先生「そうそう。みんな自分の十二支知ってる？」
B男「知ってるよ。僕はうしどしだよ。」
C男「僕はかにどし！」
先生「かにどし（？）…。そっかー。C男くんはかにどしなんだね。」
子どものイメージはどんどん広がつていくのでした。自信満々に「かにどし」と答えてくれたC男くんの表情はとておいきいきしていました。

☆自分のお父さんとお母さんの話をしていたD男くん。

D男「僕のお父さんとお母さんって結婚したんだよ。先生は結婚したの？」
先生「してるよ。」

D男「誰と結婚したの？イケメン？」
先生「イケメンってどんな人のこと？」

D男「僕のお父さんみたいな人のことだよ。」

お父さんが好きなことが感じられ、あつたかい気持ちになりました。

今回は保育園のつばやきです。

情報・募集・ご案内

秋田県商工会連合会から

「全県商工会おもてなしまつり2014」を開催します

地域の優良特産品「べっぴんさん品」と地元グルメ「イケめし」、郷土芸能などによるステージイベントが開催されます。ぜひご来場ください。

【日時】

実施日	べっぴんさん品ブース	イケめしブース
10月11日（土）	10:00～17:00	10:00～20:30
12日（日）	10:00～17:00	10:00～20:30
13日（月・祝）	10:00～16:00	

【会場】 秋田駅前 アゴラ広場・大屋根下

【主なイベント（予定）】

実施日	イベント内容
10月11日（土）	ブラスバンド演奏（湯沢市）、由利高校民謡部による唄と踊り（由利本荘市）、小町娘による観光PR（湯沢市）、超神ネイガーショー、ケースケ&マサ訛り唄ライブ、ベリーダンスショー
12日（日）	男鹿なまはげ太鼓（男鹿市）、おやま囃子（仙北市）、流しじゅんさい（三種町）、ストリートダンスショー、ベリーダンスショー
13日（月・祝）	ロックドンパン（大仙市）、願人踊り（八郎潟町）、西馬音内盆踊り（羽後町）
3日間	秋田犬ふれあいコーナー、マジックショー

【問合せ】 秋田県商工会連合会 ☎ 018-863-8495

秋田県林業研修センター

秋田林業大学の研修生を募集します！！

秋田県林業研修センターでは、秋田県林業トップランナー養成研修（秋田林業大学校）の研修生を募集します。

【募集定員】 推薦選考：10名程度

一般選考（前記・後期）：5名程度

※一般選考（後期）は一般選考（前期）終了後、定員数を満たしている場合には実施しません。

【申請期間】

推薦選考：10月1日（水）～10月20日（月）

一般選考／前期：10月21日（火）～11月21日（金）

一般選考／後期：平成27年1月19日（月）～2月6日（金）

※秋田林業大学校の詳細および募集要項の請求・問い合わせは下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

【問合せ】

秋田県林業研修センター 研修普及指導室
 〒019-2611 秋田市河辺戸島字井戸尻台47-2
 ☎ 018-882-4511 Fax018-882-4443

国民文化祭秋田実行委員会から

第29回国民文化祭・あきた2014 フィナーレイベント・閉会式のお知らせ

なまはげや竿燈など、秋田県の国指定重要無形民族文化財が、秋田市中心市街地で一堂に会し実演・披露されます。秋田の彩り豊かな文化財の力を体感できるまたとない機会に、ぜひ足をお運びください。

【フィナーレイベント】

[広小路・中土橋会場] 10:10～ 土崎神明社祭の曳山行事、花輪祭の屋台行事 他

[にぎわい広場会場] 10:20～ 秋田の竿燈、西馬音内の盆踊り 他

[にぎわい交流館AU会場] 10:30～ オエダラ箕製作実演、保呂羽山の霜月神楽 他

【閉会式】

[日時] 11月3日（月・祝）14:00～

[場所] 秋田県民会館

[内容] 創作ミュージカル「未来への架け橋」 他

【その他】詳しくは「国民文化祭あきた」で検索いただくか、下記までお問い合わせください。

【問合せ】 県観光文化スポーツ部国民文化祭推進局 ☎ 018-860-1558

情報・募集・ご案内

男鹿地区消防署から

消防ふれあい広場を開催します

【日時】10月5日（日）10:00～12:30

※雨天の場合は10月13日（月：体育の日）に延期

【場所】マックスバリュ男鹿店駐車場

【実施内容】

- ・消防車両の展示コーナー
- ・高所放水車の体験コーナー
- ・地震体験コーナー（10月5日限定）
- ・記念写真コーナー
- ・ミニ消防車&ミニ救急車の乗車コーナー
- ・救助隊の体験（綱渡り体験）コーナー
- ・心肺蘇生法、AED体験コーナー
- ・記念品プレゼント
- ・住宅用火災警報器の普及啓発コーナー

※住宅用火災警報器の見本展示や、家庭での防火・防災対策等のコーナーも設けております。

【その他】乗車体験コーナーは整理券を発行します。（数量限定）

【問合せ】男鹿地区消防署予防係

☎ 0185-23-3119



秋田年金事務所から

11月30日は「年金の日」です

厚生労働省では、「国民お一人お一人、「ねんきんネット」等を活用しながら、高齢期の生活設計に思いを巡らしていただく日」として、11月30日を「年金の日」としました。

この機会に、「ねんきん定期便」や「ねんきんネット」で、ご自身の年金記録と年金受給見込額を確認し、未来の生活設計について考えてみませんか。

「ねんきんネット」をご利用いただくと、いつでもご自身の年金記録を確認できるほか、将来の年金受給見込額について、ご自身の年金記録を基に様々なパターンの試算をすることもできます。

「ねんきんネット」については、日本年金機構のホームページでご確認いただくか、下記まで問合せください。

【問合せ】秋田年金事務所 ☎ 018-865-2379

天王みどり学園から

天王みどり学園祭を開催します

児童生徒によるステージ発表、作品展、生徒作業製品販売などが行われます。地域の皆様のご来校をお待ちしております。

【日時】10月11日（土） 9:30～14:20

【場所】秋田県総合教育センター講堂（午前）
天王みどり学園（午後）

【問合せ】県立養護学校天王みどり学園

☎ 018-870-4611

文芸 おおがた

大潟村川柳倶楽部

てる坊主何個下げれば晴れるやら

郷太郎

戦死した父の分をも生きよ母りよう子

お盆過ぎ散らばるるよに子等が去る

善一郎

趣味ひとつ背骨はいつも前をむく

茂

勝つて泣き負けてまた泣く甲子園

武松

美人だがオレの好みとチト違う

洋子

仏より甲子園です盆の夜

金治

関わりの多い分だけ胃腸薬

善拓

八十路でもまだまだ登る坂はある

登

縁台に家族の絆蘇る

キヨ子

土砂災害人が原因作つてる

一搖

やめてくれ牙むきだしの土石流

強

鷺舞の子らが羽ばたく夏の空

豊

列島の夏集中豪雨の的となる

順子

この俺に忠告出来る友がいる

兼美

豊作の噂を聞いた虫の群れ

信雄

敬老会の知らせ鼻たれ小僧宛

せい子

豪雨去り向こうに見える晴れた街

正樹

鳥海の山百合清き乙女かも

康子

平凡な暮らしにもある通り雨

稲風

情報・募集・ご案内

秋田職業訓練センターから

平成26年度アビリティコース12期生を募集します。

【訓練期間】平成26年12月5日～平成27年6月29日（7ヶ月間）

【訓練時間】9:20～15:40

【訓練科】テクニカルオペレーション科（若年者コース）（定員18名）

【募集期間】10月3日（金）～11月4日（火）

【受講料】無料（テキスト代等は自己負担）

【応募資格】ハローワークに求職申込をされた方で、新たな技術・技能を身に付けての再就職を希望される方

【問合せ】秋田職業訓練支援センター 訓練課
☎ 018-873-3178

男鹿市企業局から

ガス漏れ及びガス機器の調査を実施します

男鹿市企業局では、都市ガスをご使用のお客様宅のガス漏れ及びガス機器の調査を実施します。

この調査は、安全にガスをご使用いただくため、ガス事業法の規定により3年に1度実施するよう定められております。なお、調査は男鹿市企業局職員が行い、訪問するお客様宅には事前に通知いたします。お客様のご協力をお願いいたします。

※不審な場合は身分証明書の提示を求めてください。

【調査予定住区】

10月：北1（続き）

※平成27年1月まで順次行われ、村内全てを調査します。

豊川油田の歴史を伝える会から

豊川タールピット記念講演会
『豊川タールピット物語』

豊川タールピットとは、豊川の丘陵地～平地で天然アスファルトに覆われていた地域を言います。今から2～4万年前の氷河期に地下からあふれ出てきた重質油やアスファルトでこの地域は覆われました。平地ではアスファルトの池ができ、そこにナウマンゾウ、イノシシ、シカなどが落ちてそのまま化石となりました。

そして6千年前の縄文時代以降、縄文人によってアスファルトが接着剤として利用されていたことが明らかになっています。この時すでに、アスファルトの利用は東北全土に広がっており、その多くは豊川から運ばれたようです。明治時代には欧米の文化の影響もあり、アスファルトは防水のための塗布、更に道路のアスファルト塗装へと用途が拡大し、豊川タールピットは国内最大の天然アスファルト供給地となりました。

本講演では「縄文人とアスファルトの関わり」や「豊川タールピット」のことを知っていただき、この豊川の産業・歴史遺産を地域の資産としたいものです。

【日時】10月26日（日）10:00～12:30

【会場】潟上市昭和公民館講堂

【講演題目】

1. 「縄文時代のアスファルト精製と流通・利用」
2. 「豊川タールピットとは何か？」
3. 「豊川油田の歴史を伝える会の活動」

【問合せ】豊川油田の歴史を伝える会

☎ 018-877-2069

入札結果について

（予定価格130万円以上）

平成26年8月末までの入札結果は以下の通りです。詳しい入札結果については、入札結果閲覧簿（業務用印刷用紙）をご覧ください。

事業名	契約方式	入札日	契約額(税込)	落札率(%)	業者名
大潟村公共下水道管渠長寿命化設計委託	指名競争	8月7日	5,346,000円	94.65%	(株)遠藤設計事務所
大潟村温泉保養センター厨房冷凍冷蔵庫更新事業	指名競争	8月7日	1,512,000円	96.49%	(有)秋田店舗企画
大潟村村民センター渡り廊下等改修工事	指名競争	8月8日	16,308,000円	100.00%	(株)アクネス・シモマ
道路付属物点検等業務委託(照明施設)	指名競争	8月12日	13,500,000円	98.81%	(株)東光コンサルタンツ 秋田営業所
東2丁目6番地道路新設工事	指名競争	8月12日	5,724,000円	95.84%	鹿島道路(株)大潟出張所
旧観光パレス等解体工事	指名競争	8月21日	15,012,000円	100.00%	鈴成建設(株)
産直センター潟の店改修工事	一般競争	8月29日	127,440,000円	93.38%	成田建設(株)本店
大潟環状線舗装補修工事第23工区	一般競争	8月29日	37,885,320円	89.17%	(株)板橋組
大潟環状線舗装補修工事第24工区	一般競争	8月29日	18,459,360円	88.74%	マルト建設(株)

今月のカレンダー

月日	行 事 名	場 所
10月		
4日	幼保ふれあい運動会(9:00)	幼稚園園庭
5日	新米まつりinおおがた	サンルール大潟前
10日	前期終業式	小・中学校
11日	都市と農村交流事業(大潟小児童が浦安市を訪問、～13日)	浦安市
14日	秋季休業	幼・小・中
15日	後期始業式	小・中学校
18日	国民文化祭「川柳の祭典」(～19日)	サンルール大潟
	国民文化祭「ジオパークの祭典」ジオツアー(1回目)	
	S L 運行	秋田駅～東能代駅間
20日	国民文化祭「ジオパークの祭典」ジオツアー(2回目)	
22日	総合検診(～29日)	保健センター
26日	大潟村創立50周年記念植樹	
29日	一日行政体験事業(10:00)	役場
	村づくり懇談会(13:30)	役場
11月		
1日	学習発表会	小学校
4日	振替休業日	小学校
5日	農業委員会定例総会(13:30)	役場
8日	連続フォーラム(第2回)	サンルール大潟

村の人口の動き・公共施設の状況

◎人口の動き(9月1日現在)

項目	人数(人)	(増減)	項目	人数(人)
世帯数	1,086	(-3)	転入	3
人口	3,275	(-1)	転出	4
男	1,620	(-1)	出生	3
女	1,655	(0)	死亡	3

◎公共施設の利用状況(8月中)

施設名	利用者数	施設名	利用者数(量)
公民館	1,047人	村民センター	1,404人
村民体育館	1,388人	ふれあい健康館	1,729人
干拓博物館	2,581人	ごみ処理量	101 t
多目的運動広場	2,446人	水道使用量	43,878m ³
多目的グラウンド	420人	下水排水量	48,081m ³
子育て支援センター	21人		

◎公共施設の太陽光発電量(8月中)

施設名	発電能力 kW	発電量 kWh	消費量 kWh	売電量 kWh	買電量 kWh
西1分館	9.99	985	131	949	95
西2分館	3.96	370	36	356	22
西3分館	7.74	756	85	716	45
東2分館	9.99	1,082	155	991	64
東3分館	9.99	1,011	138	963	90
北1コミ会館	7.20	525	120	464	59
北2コミ会館	5.40	591	64	553	26
南コミ会館	4.32	400	195	306	101
多目的会館	4.95	456	235	360	139
合 計	63.54	6,176	1,159	5,658	641

○売電量の金額換算：237,636円(単価42円/kWh)

○発電量の石油換算：1,279リットル

今月の保健センター相談・健診

■保健センター ☎45-2613

◎乳児健診(4ヶ月(H26.5.9～6.9生)、7ヶ月(H26.2.9～3.9生)、10ヶ月(H25.11.9～12.9生)、13ヶ月児(H25.9月生))

10月9日(木) 13:00～

◎乳児相談(H26.7.9～8.10生の乳児)

10月10日(金) 13:00～

◎2歳児親子歯科健診(H24.6月～7月生の幼児と親)

10月16日(木) 13:00～

◎保健センター開放日「潟っ子広場」

10月31日(金) 10:00～11:30

「こどもが喜ぶ! キャラのりまき」

【講師】前田 亜沙美さん

【会場】村民センター 託児あります

【参加費】300円(材料費)を当日ご持参ください。

【申込・問合せ】10月23日(木)まで

保健センターに☎45-2611 ※先着20名

◎健康相談

次のほか、保健センター来所者の相談も随時受け付けています。

ふれあい健康館

10月15日、11月5日(全て水) 9:50～

保健センター

10月17日(金) 9:30～11:00

11月5日(水) 13:00～ 栄養相談もできます。

◎福田先生の健康相談

いろいろな疾病の相談に応じます。お気軽にお出でください。

10月9日・23日(全て木)14:00～15:00

【会場・申込】保健センター ☎45-2613

◎専門医による「心の健康相談日」

10月14日、28日(全て火) 13:30～15:00

会場：秋田地域振興局福祉環境部

10月21日(火) 13:30～15:00

会場：男鹿市保健福祉センター

【申込・問合せ】秋田地域振興局福祉環境部

児童障害者班 ☎018-855-5171

10月の行政相談

行政や特殊法人等の仕事についての苦情や意見・要望を受け付け、その解決を促進するよう相談に応じています。お気軽にご相談下さい。

【行政相談委員】北村 シゲさん(西3-4、☎45-2918)

【相談日】10月21日(火) 10:00～12:00

【会 場】役場旧庁舎2階 第2委員会室

9月号慶弔欄で古戸 洸介(こうすけ)さん・陽子(ようこ)さんのお子さんの誕生日を8月14日と記載しておりましたが、正しくは8月6日です。訂正し、お詫び申し上げます。